

## ① 水道事業を取り巻く環境

- ◆ 水需要の減少
  - ・給水量は、節水機器の普及等により、平成4年度をピークに年間約1%の減少傾向となっています。
  - ・平成24年6月以降、本市の人口は減少を始めたことから、給水量の減少は、今後も継続すると想定されます。
- ◆ 経年化施設の増大
  - ・高度経済成長期に、整備した施設の大量更新時期を迎えており、全てを更新するには、膨大な時間と事業費が必要となります。
- ◆ 災害リスクの高まり
  - ・南海トラフ巨大地震は、今後30年以内の発生確率が70%と想定されており、水道施設への被害対策が求められています。

## ② 堺市独自の事業背景

- ◆ 漏水・濁水事故の発生
  - ・近年発生した幹線管の漏水事故、工事に起因する濁水事故を教訓とし、再発防止策や事故発生時の迅速な対応策の構築が必要です。
- ◆ 水源について
  - ・本市の水道水は、大阪広域水道企業団から100%を受水しており、受水費が収益的支出の約半分を占めていることから、漏水防止による受水費の削減が重要となります。また、震災時等においては受水停止の可能性があるため、危機管理対策として配水池の耐震化や分散貯留が必要となります。
- ◆ 関係者間の連携について
  - ・府域の水道事業においては、広域化の取組として、大阪広域水道企業団を核とした府域一水道を目指しており、本市は南大阪の中核的都市として、周辺事業者との連携が求められています。
  - ・お客さまサービスの向上に向け、民間ノウハウの導入など官民連携による民間活力の有効活用が必要です。
  - ・平成16年度から上下水道局を設置しており、今後とも上下水道の連携による危機管理体制及び技術力の強化が必要です。

## ③ 基本理念と3つの挑戦

### 事業運営の基本理念

安全安心な水を将来にわたってお届けし、  
お客さまに信頼され、愛される堺の水道

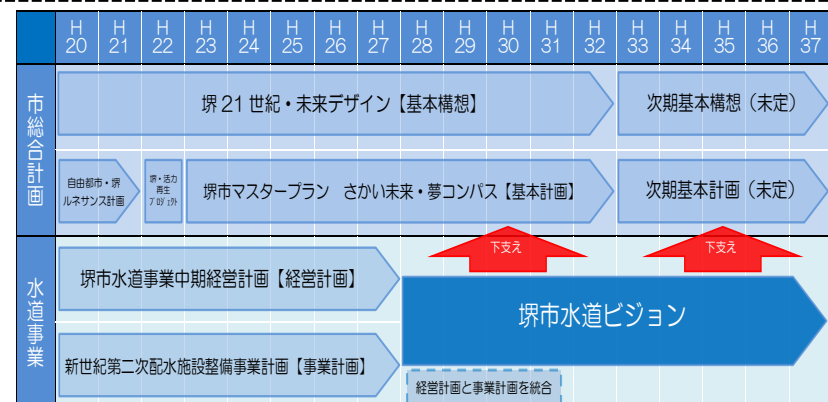
### 3つの挑戦

- ① 「いつでもあんしん堺の水道への挑戦」  
～人口減少社会においても今の水道サービスレベルを維持します～
- ② 「いのちを守る堺の水道への挑戦」  
～危機管理体制を強化し被災時・事故時においても水道水を届けます～
- ③ 「しんらいを築く堺の水道への挑戦」  
～人材育成を強化しお客さまから信頼され愛される職員を育てます～

## ④ ビジョンの位置づけ、計画期間

本市の総合計画である『堺21世紀・未来デザイン』、都市経営の基本戦略である『さかい未来・夢コンパス』のめざす将来像の実現に向け、水道事業として取り組むべき「3つの挑戦」を掲げ、「安全」「強靱」「持続」の確保の観点から、この10年間で取り組むべき具体的な方策をまとめたものです。

【計画期間】  
平成28年度～平成37年度（10年間）



## ⑤ 主な事業取組と効果

挑戦(3)	施策(8)	事業(25)	事業実施による効果
いつでもあんしん堺の水道への挑戦	安全で安心な水道水【安全】	★水質管理（水質モニターの整備など） 水安全計画の推進 貯水槽水道の管理と直結給水方式の推進 鉛製給水管取替の促進	◇水質検査の信頼性の確保と水道水質の安全の保障 ◇お客さまへの安心で良質な水の提供
	耐震化の推進【強靱】	★優先耐震化路線の構築 配水池の耐震化	◇避難所等への給水機能の確保
	施設の維持管理と更新【持続】	★幹線管の更新 ★配水支管（φ300mm以下）の更新 管路の維持管理 配水池の維持管理 機械・電気・計装設備の更新	◇施設の長寿命化と配水機能の強化
	持続的な財政運営【持続】	★安定した財政基盤の構築	◇将来に向かって継続かつ安定した水道サービスの提供 ◇水道料金水準の維持（値上げの抑制）
いのちを守る堺の水道への挑戦	環境負荷の低減【持続】	★新分岐の設置 陶器配水場への小水力発電設備の設置	◇年間約70万kWh（電気代2,400万円相当）の使用電力量の削減 ◇年間約365tのCO <sub>2</sub> 発生量の抑制
しんらいを築く堺の水道への挑戦	お客さまとのパートナーシップの形成【持続】	★双方向コミュニケーションの確立 ★お客さまの経営参画の拡充 ★CSの向上・お客さまへの啓発	◇事業経営へのお客さまニーズの反映 ◇お客さま満足度の向上
	人材育成の充実・執行体制の強化【持続】	★自ら考え行動する職員の育成 適正な組織体制の確保 広域連携に向けた取組 ★＝重点事業	◇お客さまから信頼される上下水道局 ◇持続・安定的な事業運営の確保

## ⑥ 主な数値目標

指標	H26	H28	H29	H30	H31	H32	H37
鉛製給水管率 (%)	8.1	7.4	7.0	6.7	6.3	5.9	4.0
優先耐震化路線耐震化率 (%)	56.1	65	72	75	79	82	92
幹線管耐震化率 (%)	18.7	22.0	23.1	24.8	27.8	28.5	33.9
総管路耐震化率 (%)	21.6	24.2	25.4	26.5	27.7	28.8	34.2
配水池耐震化率 (%)	74	77	78	78	78	78	88
給水拠点数 (箇所)	12/15	12/15	13/15	14/15	14/15	14/15	15/15
緊急連絡管数 (箇所)	8/15	11/15	12/15	12/15	13/15	13/15	15/15
幹線管更新率 (%/年)	2.0	2.3	1.4	2.7	3.3	0.9	1.8*
総管路更新率 (%/年)	1.3	1.0	1.0	1.2	1.0	1.1	1.1*
有収率 (%)	92.1	年次目標設定なし					94.6
口座振替率 (%)	73.5	年次目標設定なし					80.0
収納率 (%)	99.77	年次目標設定なし					99.90
経常収支比率 (%)	109.8	100以上	100以上	100以上	100以上	100以上	100以上
小水力発電量 (万kWh)	65	70	70	140	140	140	140

※ H37欄は、H28～37の10年間の平均

## ⑦ 今後の見通し

- ◆ 建設改良事業
  - 事業費の総額を掲載予定【現在精査中】
- ◆ 財政状況
  - 今後の収支見通しの概要を掲載予定【現在精査中】

## ⑧ 推進体制

